



※イメージです

# 能と大内御膳

## ◆ 大内御膳

明応9年(1500)、室町幕府10代将軍足利義<sup>よしあね</sup>植が大内義興<sup>よしおき</sup>の治める山口へ訪れた。その際に振舞われたおもてなしの様子が「明応九年三月五日将軍御成雑掌注文」に記されている。

当時のおもてなしの献立としては最も多くの品数が記録されており、その数は32のお膳に及ぶ。その当時のものを、砂糖、醤油、みりんを使わずに再現したものが大内御膳で、食材本来の味を堪能できる。

写真提供：山口市教育委員会

観世流 能楽師  
たくしま のりこ  
多久島法子



福岡在住。  
東京芸術大学音楽部邦楽科卒業後、大阪で大槻文蔵(人間国宝)のもとで修行し、平成22年に独立。現在は福岡を拠点に全国で活動中。大阪・福岡・佐賀・唐津に稽古場を持つ。若い人に向けた様々な活動も行っており、能楽の普及に務める。平成27年「山口新能」、同29年「能のかたち in 山口 特別公演 船弁慶」等山口での舞台にも出演。

【出演者】 多久島法子 能楽師観世流シテ方  
相原一彦 能楽師森田流笛方

### 【大内御膳解説】

北島大輔 山口市教育委員会文化財保護課


平成30年11月2日(金)  
18時30分～

【場所】 防長苑

【参加費】 6,000円  
(大内御膳弁当+ソフトドリンク含む)

【定員】 40名(先着順)

【お申し込み・お問い合わせ】  
090-6406-0245 (米本)

 『能と大内御膳』で検索

〔主催〕山口で芸術に親しむ会 〔助成〕山口メセナ倶楽部

〔後援〕山口市教育委員会 山口商工会議所